

青森県行財政改革実施計画に係る平成26年度取組状況について

1 進捗状況

取組期間の初年度となる平成26年度は、当初計画に掲げた取組事項のすべてに着手し、順調に取組を進めています。

(件)

戦略軸	取組事項	今年度	
		着手済み	未着手
I 業務戦略	15	15	0
II 組織戦略	42	42	0
III 協働戦略	13	13	0
IV 財政戦略	25	25	0
計	95	95	0

<取組工程の変更…1件>

○県有施設の総合的な利活用の推進 (P92)

国から、県有施設の総合的な利活用の推進や公共土木施設等の長寿命化の推進の取組等を包含することとなる「公共施設等総合管理計画」の策定の要請があったことから、同計画の策定を取組工程に追加。

2 主な取組事項の状況

≪ I 業務戦略 ≫

○目標管理型業務マネジメントの構築・実施 (P1)

業務の目標についてPDCA型のマネジメントを実施する仕組みを構築し、試行に向けた説明会を実施。下半期において、来年度の本庁の各部局及び出納局においての実施を見据え、本庁の各部局及び出納局1課以上で試行。

○政策・施策の取組の重点化 (P2)

平成27年度の「取組の重点化の基本方針」(3つの戦略プロジェクト及び4つの戦略キーワード)を決定。下半期において「取組の重点化の基本方針」に基づき、事業の企画・立案を実施。

○事務改善等による事務処理の効率化・省力化 (P6)

業務知識の共有化及び資源の効果的活用を図るため職員向けの専用サイトを開設。具体的取組として、農業分野における各種調査の見直しなど7項目を実施。

《Ⅱ 組織戦略》

○優秀な人材の確保 (P19)

より人物重視の職員採用試験とするために、面接試験においてグループワークや2度の個別面接を実施。下半期において、学生等を対象に各部局ごとに業務説明・講話を行う「青森県庁JOBセミナー」を開催。

○新たな人材育成方針の策定 (P21)

青森県人材育成推進会議幹事会を開催し、新たな人材育成方針の骨子案を決定。下半期において、人材育成方針を策定。

○公社等の経営改革 (P49)

公社等及び県所管部局担当者を対象に「第三セクター・公社等の経営改革に関する研修会」を開催するとともに、公社等に対し、適切な目標等の数値設定を含む新たな中期経営計画の策定を要請。下半期において、各公社等が策定する中期経営計画を取りまとめの上、公表。

《Ⅲ 協働戦略》

○広報広聴の充実 (P55)

県民との関係を強化する「戦略的クロスメディア広報」体制の構築を基本コンセプトとし、各広報媒体の利用方法や運用方法を見直し新たな広報活動を展開。下半期において、ソーシャルメディアを積極的に活用し、より戦略的な広報活動を展開。

○オープンデータ化の推進 (P57)

産学官で構成する青森県オープンデータ検討会を設置し、「オープンデータあおもり戦略(案)」を取りまとめた。下半期において「オープンデータあおもり戦略」を策定。

○民間活力の活用の推進 (P60)

民間活力の活用の推進に向けて新たな指針を策定するため、部局間横断型の庁内検討チームを設置し、検討。下半期において指針を策定。

具体的な取組として、「県産品販売促進業務」など2項目の民間移行の取組、「職員公舎管理業務」など3項目の民間委託の取組、「NPO等との連携・協働の推進」など11項目の連携協働の取組を実施。

《Ⅳ 財政戦略》

○県有財産の処分・有効活用等の推進 (P85)

県庁舎内のホール等にポスターを掲示する「青森県庁舎広告掲載事業」を新たに実施。下半期において、県立中央病院での広告掲載事業の取組を検討。

○県有施設の総合的な利活用の推進 (P92)

「公共施設等総合管理計画」の策定に向けて、庁内を対象とした説明会を開催し、計画の対象となる施設の整理に着手。下半期において、関係課によるワーキンググループを設置し、計画の基本的な考え方や全庁的な取組方策等について検討。

○県有施設の長寿命化の推進 (P96)

県庁舎に関しては耐震・長寿命化改修工事の設計を、県立学校施設に関しては校舎等の改修工事及び躯体調査を、県有体育施設に関しては青森県営スケート場及び青森県武道館の長期保全計画策定に向けた検討を、それぞれ実施。

3 今後の取組方針

引き続き、取組事項について着実に取組を進め、改革の歩みをゆるめることなく、全庁一丸となって行財政改革に積極的に取り組んでいきます。